

令和5年10月6日

保護者の皆様

川崎市立宮崎中学校

校長 榎原 真也

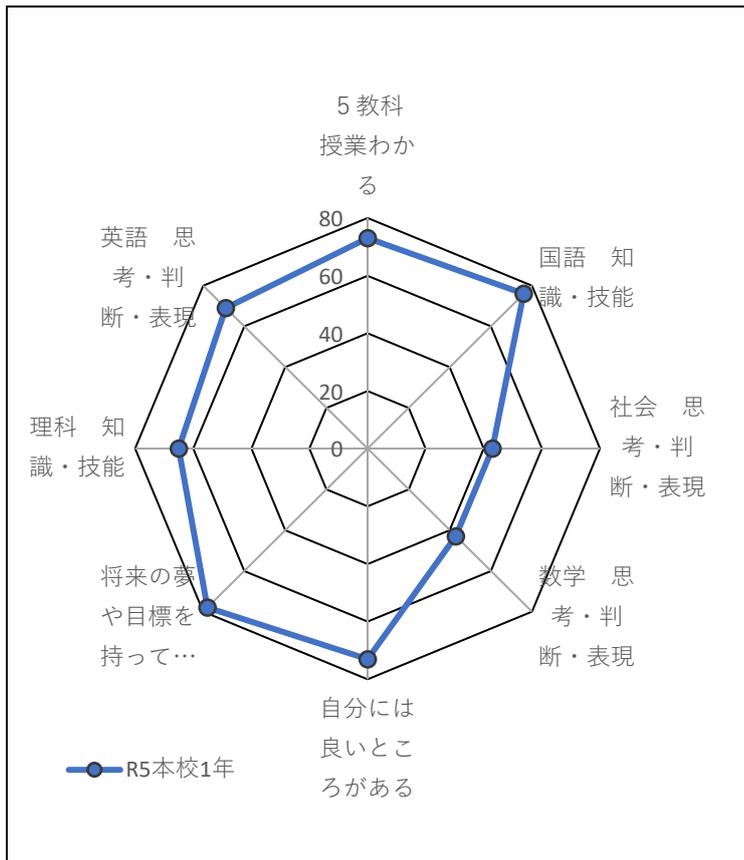
令和5年度 川崎市学習状況調査、全国学力・学習状況調査 結果の概要と今後の取組について

日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。4月13日（木）に行いました1～3年生対象の川崎市学習状況調査の結果と、4月18日（火）に行いました3年生対象の全国学力・学習状況調査の結果をご報告します。本校では学校教育目標（育成を目指す資質・能力、目指す生徒像等）の実現に向け、日々の教育活動に取り組んでおり、今後は本調査結果を生かした取組をさらに進めてまいります。なお、本調査によって測定できるのは生徒の実態の一部であり、学校における教育活動の一側面ですので、本資料につきましては、本校の教育活動の成果と課題を把握するための一つの指標としてお考えください。また取組の様子は、今後の学年だよりや学校説明会等でもお伝えしていく予定です。

学校教育目標（育成を目指す資質・能力、目指す生徒像等）

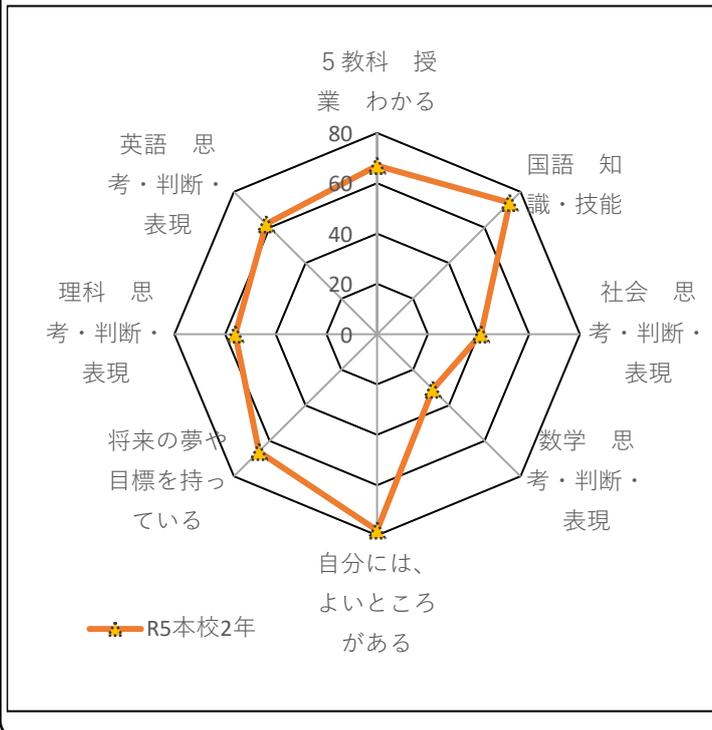
- 実生活に活用できる基礎的・基本的な知識や技能
- 身につけた知識を活用して自ら考え、表現する力
- 主体的、協働的に取り組もうとする態度

令和5年度 川崎市学習状況調査 1年生



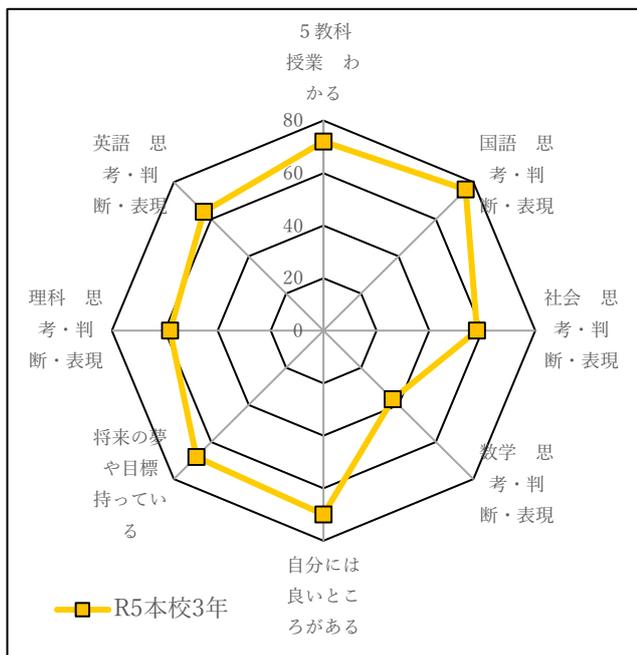
- ・「5教科 わかる」は、73ポイントでした。毎時間の学習のねらいを明確にし、単元等の導入部分では、学習の見通しをもつ活動を行い、終末部分では振り返りをしっかりと行うことで、どの生徒も「わかる」という感覚を得られるように授業改善を行います。
- ・「国語 知識・技能」、「理科 知識・技能」については、学校教育目標の「実生活に活用できる」を踏まえ、言語や重要語句などの基礎的・基本的な知識や技能が身につくような学習活動を継続して行います。
- ・「思考・判断・表現」は教科により差があります。学校教育目標の「身につけた知識を活用して」を踏まえ、学んだことを活かして、身近な課題について考えたり、筋道を立てて考え、自分と他の人の考えを比較したり関連付けたりする活動に取り組みます。
- ・「自分には良いところがある」は、73ポイントでした。生徒が他者と関わり合いながら授業や行事等に主体的に参加し、協働的に取り組むことを大切にし、自他のがんばりや互いの良さを認め合う活動を重視します。

令和5年度 川崎市学習状況調査 2年生

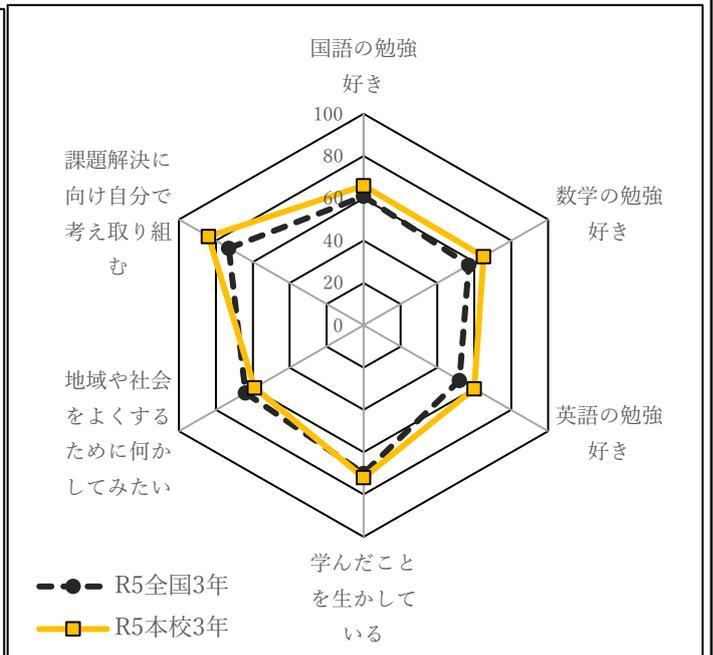


- ・「5教科 わかる」は、67ポイントでした。毎時間の学習のねらいやゴールを明確にし、単元等の序盤では、学習を見通す活動を重視し、終盤では、振り返りを行うことで、「わかる実感」を得られるように授業改善を行います。
- ・「思考・判断・表現」は教科により差があります。学校教育目標「知識を活用して自ら考え、表現する」を踏まえ、学んだことを活かして、身近な課題について考えたり、他者の考えを評価したりする活動に取り組みます。
- ・国語の「知識・技能」は、74ポイントでした。学校教育目標「実生活に活用できる」を踏まえ、言語感覚を磨く取組を意図的に実践し、次年度は、5ポイントアップを目指します。
- ・「将来の夢や目標を持っている」は、67ポイントでした。キャリア在り方生き方教育を通して自分を見つめ、自分のよいところを実感し、自分なりの生き方を考える活動を重視します。

令和5年度 川崎市学習状況調査 3年生



全国学力・学習状況調査 3年生



- ・「5教科 わかる」は、72ポイントでした。今後も1、2年次の取組を継続します。
- ・「思考・判断・表現」は教科によって差が生じています。数学に関しては、学校教育目標の「身につけた知識を活用して自ら考え、表現する力」を踏まえ、文章題等の演習問題を繰り返し学習することや、2次方程式等の学習内容にGIGA端末を活用し、視覚的な理解につながる活動を行っていきます。
- ・全国調査「国語の勉強が好き」、「数学の勉強が好き」、「英語の勉強が好き」、「学んだことを生かしている」については、いずれも全国平均を上回りました。今後は、単元ごとの授業展開をさらに工夫し、より「わかる授業」「できる授業」につなげ、確実な学力の定着を図っていききたいと思います。
- ・全国調査「課題解決に向けて自分で考え取り組む力」は、84ポイントと全国平均を大きく上回りました。「総合的な学習の時間」を通し、主体的、協働的に取り組む態度が3年間で涵養したと思います。
- ・今後は、将来の目標をもって夢の実現につなげることや、自己肯定感を味わいながら、地域や社会を良くするための行動力を身につけた生徒の育成を目指していききたいと思います。